

平成 28 年度用 中学校技術・家庭【家庭分野】教科書 完全準拠

# 家庭分野 学習指導書



平成 24 ~ 27 年度用  
学習指導書



平成 28 ~ 31 年度用  
新教科書

## 目次

- |                            |                          |
|----------------------------|--------------------------|
| ① 学習指導書ラインナップ一覧 ..... 2    | ⑤ 指導事例編のご紹介 ..... 7      |
| 新しい教科書のご案内 ..... 3         | ⑥ 内容編のご紹介 ..... 8        |
| ② 実践編のご紹介 ..... 4          | ⑦ 入門編のご紹介 ..... 10       |
| ③ 指導計画・評価編のご紹介 ..... 6     | ⑧ ワークシート複写編のご紹介 ..... 12 |
| ④ データ集 CD-ROM のご紹介 ..... 7 | ⑨ デジタル教科書のご紹介 ..... 14   |

開隆堂

# 1 学習指導書ラインナップ一覧 (予定)

開隆堂出版の新しい教科書をご使用いただく先生方のために、教科書に完全準拠した学習指導書をご用意いたします。

学習指導書には、セット販売のものと、単体販売のものがございます。

※学習指導書は現在制作中につき、内容の変更が生じる可能性がありますのでご了承ください。

## セット販売の学習指導書の内容 (予定)

### ● 実践編 (⇒ p.4)

B5判 見開きごとに教科書の縮小イメージを配置し、その回りに、授業を進める際に  
278頁 有用な情報(解説や資料など)を掲載します。授業の際に、そばにおいて  
カラー ご使用いただける指導書です。

### ● 指導計画・評価編 (⇒ p.6)

B5判 3年間を見通した指導計画や評価の例、テスト問題などを掲載します。学校  
288頁 の状況に見合った指導や評価の計画などを立てていただけるように、より多  
黒1色 くの資料をご提供します。

### ● データ集 CD-ROM (⇒ p.7)

CD-ROM 1枚 「指導計画・評価編」で掲載する指導計画例や評価例関連、テスト問題例な  
ケース入り どのデータと、教科書図版データを収録します。先生ご自身が、授業内容に  
合わせてデータを編集してお使いいただくことができます。

### ● 指導事例編 (⇒ p.7)

B5判 全国の先生方による多種多様な指導事例を、各内容(A家族・家庭と子どもの  
176頁 成長、B食生活と自立、C衣生活・住生活と自立、D身近な消費生活と環  
黒1色 境)ごとに掲載します。授業のご参考となるように、より多くの事例を掲載  
し、丁寧に解説をしています。

### ● 内容編 (4分冊) (⇒ p.8)

B5判 黒1色 各内容(A家族・家庭と子どもの成長、B食生活と自立、C衣生活・住生活  
A:224 B:272 と自立、D身近な消費生活と環境)について1冊ずつ作成し、各内容の詳細  
C:240 D:128 について解説します。学習項目ごとに、指導細案、目標と評価、参考資料、  
研究資料などを詳しく掲載します。

### ● 入門編 (⇒ p.10)

B5判 「指導計画」、「授業例」、「実習の手順」、「指導方法」などを掲載し、そのま  
192頁 まの内容で3年間の授業ができるような例を、一例を通して掲載します。こ  
黒1色 れから教科書について深めていかれる先生方をサポートする指導書です。

### ● ワークシート複写編 (⇒ p.12) ※単体販売

B4判 授業の際や宿題として使用できる、教科書の内容に完全準拠した各種ワーク  
208頁 シートを収録します。付属のCD-ROMには、ワークシートのデータを  
黒1色 Word形式で収録するため、先生がご自身の授業内容に合わせて、データを  
CD-ROM付 変更することも可能です。

## 新しい教科書のご案内

新しい「家庭分野」教科書は、家庭分野の学習がよりわかりやすく、また、より深めることができるようにさまざまな工夫をしました。その中より主な特徴をいくつかご紹介いたします。詳細につきましては、別冊の「教科書内容案内」をご参照ください。

### 1. 現行の教科書より12ページ増やし、さらに軽量化を図りました。

新教科書では、現行教科書よりさらに「教師にとっては教えやすく、生徒にとっては学びやすい」ことを追求し、詳しく、分かりやすくなるように編集し直しました結果、12ページ増を行うこととなりました。

また、増ページされた分、教科書が厚く、重くなることを避けるため、薄く、丈夫で軽量の紙を製紙会社と共同で開発し、厚さと重量を現行の教科書よりも約5%減少させることを実現しました。

### 2. 「学びを通して自立し、共に生きる力を育み、持続可能な社会をめざす」ことをテーマに、基礎的・基本的な知識及び技能を活用して課題解決に必要な思考力、判断力、表現力や、主体的に取り組む態度を養うことを基本的なねらいとしました。

各題材は「学習の目標」で始まり、「考えてみよう」「やってみよう」「調べてみよう」など導入課題から学習を展開し、おわりの「ふり返し」で目標と評価の一体化を図り、学習の見通しと課題意識をもって学ぶことができます。また、生活事象の豊富な具体例によって、地域の生活と結びついた学習が実感をもって展開できますし、学習目標に合わせた多様な「実験・実習」を示していますので、生活の中の現象を科学的に見つめ、探求的な学びと、確かな知識が定着します。

### 3. 「持続可能な社会」について、学習内容のABCで具体事例を示しながら、D内容「身近な消費生活と環境」と密接な関連を図って示しました。

「持続可能な社会」のありかたについて、環境の内容をまとめて示すのではなく、内容ABCの具体的な学習と関連付けて取り組むことで、実践と結び付けやすく示しました。

### 4. だれでも見やすいデザイン・色使いになるようにしました。

色覚には個人差があると言われています。家庭分野の教科書は、その色覚のちがいは情報格差を防ぎ、どのような生徒にも見やすい教科書とするために、カラーユニバーサルデザイン(CUD)に取り組んでいます。単にCUDに配慮しているというだけではなく、実際にCUDの認証機関であるカラーユニバーサルデザイン機構(CUDO)の検証を受けており、教科書の裏表紙にはCUDマークを掲載しています(現在取得見込み)。CUDマークは信頼性が高いマークです。

## 2 実践編のご紹介

学習指導書「実践編」は、教科書と同じページ構成を持つ指導書で、各ページに教科書の縮小イメージを配置し、その回りに①本時の目標 ②学習の流れ ③指導のポイント ④板書例 ⑤内容解説 ⑥評価のポイント ⑦その他資料などを掲載するものです。

### ● 指導時数

この見開き内容に、何時間の指導時数が割り当てられているかを記述しています。

### ● 本時の目標

本時における、基本的な学習の目標を記述してあります。

### ● 学習の流れ

本時における、基本的な学習の流れを記述してあります。流れは「導入」→「展開」→「まとめ」を基本とし、それぞれについてより詳細な内容を併記するようにしています。

### ● 教科書縮刷

教科書の該当ページの縮刷(約60%)を掲載しています。

### ● 指導のポイント・留意点

本時を指導する際にポイントとなる点や、指導の際に留意すべき点を記述しています。

### ● 板書例

授業の最初に板書する「今日の目標」の例や、その他、基本的に考えられる板書の例の一例を掲載しています。

**B 食生活と自立** 1 健康と食生活 2 食品の選択と保存

指導時数: 2/32

**本時の目標**

- ①食品を食品群に分類する。
- ②栄養素の種類とはたらきや食品の栄養的特質について、調べたり、まとめたりする。
- ③栄養素の種類とはたらきを理解する。
- ④食品の栄養的特質を理解する。

**学習の流れ**

**導入** 米飯の成分と人の体の成分から栄養素のはたらきを考える。

●米飯の炭水化物はほとんど体の成分になっていない理由を考える。

**展開** 食品の栄養素と食品群や栄養的特質について、調べ、理解する。

●食品を食品群に分類する。

●やってみよう/教科書p.74・75を活用して、食パンなどの食品の栄養素の種類と食品群を調べ、食品の栄養的特質を知る。

**まとめ** 食品に含まれる栄養素の種類とはたらきについて、確認する。

●教科書p.74・75を活用して、食品に含まれる栄養素の種類とはたらきについて、まとめる。

**指導のポイント・留意点**

★教科書p.142～145の「日本食品標準成分表2010」を活用し、食品に含まれる栄養素の種類や量を調べさせる。

★栄養素の指導については調査や話し合いなどをしたり、視聴覚教材を活用したりするなどの活動を取り入れてもよい。

★食品群については、小学校で学習した栄養素の体内での主な3つのはたらきの系統性を考慮する。

**板書例**

3 栄養素のはたらきと食品

- ①食べたものは体の中でどうなるのか?
- ②栄養素の種類
- ③6つの基礎食品群
- ④水分と食物繊維
- ⑤食品に含まれる栄養素と食品群

例えば  
食パン → 炭水化物 → 5群

- ⑥食品の栄養的特質

例えば  
食パン → 炭水化物 → 5群 → エネルギー

- ⑦栄養素のはたらきと食品のまとめ

現行版学習指導書「実践編」p.72, 73での例

表紙も教科書と同じものを用いますので、授業の際にお持ちになってご使用いただける、教師用の参考書としてご活用いただくものです。

多くの内容や詳しい資料などは掲載していませんが、授業の際に最低限必要な内容を掲載していますので、学習指導書の中では最も基本的な指導書です。

体裁は教科書と同じB5判、272ページ、見返し6ページ、オールカラーとなる予定です。

### ● 内容解説

教科書の内容に対して、詳しい説明が必要である箇所についての解説を記述しています。より詳細な解説等については、学習指導書「内容編」をご参照ください。

### ● 導入課題・課題の解説

該当ページに導入課題や課題がある場合には、導入課題や課題の意図、生徒へのサポート方法などについての解説を記述しています。

### ● 評価のポイント

本時の学習に対する評価規準について、特にポイントとなる数点を記述しています。

### ● その他の資料

その他、授業に役立つ内容や資料などを記述しています。

3 調理をしよう 4 地域の食材と食文化

**6つの基礎食品群** 五大栄養素のうち、どの栄養素も多く含むことによって食品を6つのグループに分けたものが、6つの基礎食品群(=75ページ)です。この6つの食品群から食品を過不足なくとることによって、栄養素をバランスよくとることができます。

**食品成分表**(=142ページ)には、可食部100g中に含まれるエネルギーや栄養素の種類や量が示されていますが、1回に食べる量は食品によってもちがうので、注意が必要です。

**6群の基礎食品群**

- 1群 主にたんぱく質を多く含む食品群
- 2群 主に食物繊維(カルシウム)を多く含む食品群
- 3群 主にビタミンA(カロチン)を多く含む食品群
- 4群 主にビタミンCを多く含む食品群
- 5群 主に炭水化物を多く含む食品群
- 6群 主に脂質を多く含む食品群

**内容解説**

○新陳代謝  
体は毎日新陳代謝を繰り返し、新しく食べた食物から得る栄養素で体がつくられている。したがって、いつも同じ成分の体ではない。脳も食べた物でつくられているから、学んだり考えたりする力も食物の影響を受けている。体の水分も、飲んだ水、食べた物に含まれる水分からできている。

●やってみよう/  
食べた物は体の中でどうなるのか。  
小学校で学習した栄養素のはたらき(栄養素は体内でつくることができないので、食べ物を食べて体内で消化し、栄養素を吸収して利用している)を思い出させる。

●やってみよう/ 次の食品の栄養素を調べ、食品群に分類しよう。

- 精白米…炭水化物…5群
- 牛乳…カルシウム…2群
- にんじん…ビタミン…3群
- 卵…たんぱく質…1群
- ぶた肉…たんぱく質…1群
- バター…脂質…6群
- キャベツ…ビタミン…4群

**評価のポイント**

- ①栄養素の種類とはたらき、食品の栄養的特質について、調べたり、まとめたりすることができる。
- ②栄養素の種類とはたらきを理解している。
- ③食品の栄養的特質を理解している。
- ④食品を食品群に分類できる。

**その他の資料**

食物繊維は消化・吸収されませんが、腸のはたらきを活発にし、便通をよくし体調を整える大切なはたらきをしています。また、有害物質といっしょに排泄されることで生活習慣病の予防に役立つことがわかってきています。

**水分と食物繊維** 水分は、栄養素の運搬、老廃物の排出、体温調節などの重要なはたらきをしています。汗をかいて水分を補給しないと、体温調節ができなくなり、熱中症や脱水症状を引き起こすこともあります。

**食物繊維**は消化・吸収されませんが、腸のはたらきを活発にし、便通をよくし体調を整える大切なはたらきをしています。また、有害物質といっしょに排泄されることで生活習慣病の予防に役立つことがわかってきています。

**食物繊維のはたらき** 食物は胃や腸で消化され、栄養素が吸収された残りや、体の老廃物などが便となって出てくる。便が出ないと体の中に老廃物をため込むことになる。そのために、腹痛がしたり、吹き出もののでたりする。根菜(ごぼうなど)、豆類(糸引き納豆など)、きのこ(干しいたけなど)、海そう(角寒天など)などに多く含まれる食物繊維は、人間には消化・吸収できない。そのため、栄養素としては利用できないが、腸の活動を刺激して便通を整えたり、有害物質を排泄したり、コレステロールや糖質の吸収を遅らせたりすることで、生活習慣病の予防に役立っている。

**水分** 水はさまざまな物質を溶かすはたらきをもっている。全身を流れる血液のおよそ8割は水分で、血液中の水分に栄養素が溶けることで全身に栄養素を運搬している。さらに、生命活動で生成された老

学習指導書「実践編」は、他の学習指導書から、特に授業の際に必要な部分を抜粋して集めた指導書です。

### 3 指導計画・評価編のご紹介

学習指導書「指導計画・評価編」は、セット販売される他の指導書各編の「総説編」としての位置づけを持つもので、主に次のような内容から構成されています。

第1部では、教育課程を踏まえて、これからの技術・家庭科の指導や評価のあるべき姿について解説する内容、さまざまな教育課題について、家庭分野として配慮すべき点を取り上げて解説する内容、技術・家庭科創設の中心的役割を果たされた鈴木寿雄先生（元・横浜国立大学教授、元・文部省教科調査官）ご執筆による、教科の歴史を社会的背景と関連づけて解説する内容などから構成されています。

第2部では、指導と評価の計画作成のための手立てや、具体的な指導と評価の計画例ならびに評価規準例を紹介しています。また、ふり返りを適切に行うための、ふり返しシート例や、各観点を読み取ることができるような、テスト問題例も掲載しています。

第3部では、参考資料として、関連教科を含めた学習指導要領の内容と、中学校教材整備指針を掲載しています。

体裁は、B5判、288ページ、黒1色となる予定です。

### 3. 3年間を見通した年間指導計画と評価

#### 1 指導計画の作成

今回の学習指導要領では、授業時数は変わらないものの、内容はA～Dの4つの分野から成り立つ。そのため、学年ごとの設定は明らかでなく、家庭分野の「生活の課題と実践」の選択事項および技術分野との連携など、総括的に考えた指導計画となるならば、おのずと3年間を見通したものが必要となる。したがって、24年度に入学した1年生は、26年度に卒業するまでの長期計画に基づいて立案される。途中、学校行事や思わぬハプニングで多少の修正はされるにしても、3年間の内容としてとらえる必要がある。

#### 2 配当授業時数

3年間を見通した指導計画では、これまでのことをふり返ると第1学年70時間を、技術と家庭で35、第2学年も同じく35、第3学年を技術18、家庭17が一般的な考え方であった。場合によっては、第1学年は技術分野が少し多く時間を配当し、第2学年では家庭分野の方に少し多く配当し、3学年間でトータルすると、技術分野と家庭分野が同じ時数になるような指導計画も考えられる。また、家庭分野の中でも、実践的・体験的な活動がより多く含まれる題材に多くかけることが適していると考えられるが、各学校に施されて、創意工夫によるものと期待されることもある。

#### 3 21世紀に成える家庭分野

家庭科は、江戸時代の「お針小原」から出発し、明治5年の「学制」公布、明治13年に「教育令」を制定して以来、歴史の経緯があるが、社会の変化に左右されにくい普遍的な側面と、社会変化に対応する可変的な側面があり、時代を問わず、人間の生活を総合的にとらえ、主体的に創造していく人間教育である。生活は大きく変わっても、根本にある「生活そのものを大切に人間」を育てていくことが大切であり、その人が心豊かに生活するための基礎・基本を学習するのが家庭科教育である。

#### 4 指導計画例について

この資料では、次に示す7つの指導計画例を提示している。「指導計画・評価編CD-ROM」には、この7つの例のほか、「[D]身近な消費生活と環境」とB、Cとの連携を図った例も収録されている。指導計画例の各学習題材には、配当時間数のめやすを示している。各学習題材の履修順序を入れ替える、各例の学習題材を組み合わせる、配当時間数を増減させるなどして、さまざまな形態の指導計画を組むことができる。また、同じ学習題材であっても、生徒活動はそれぞれ例によって異なるものを示している。各学校や生徒の実態に応じた年間指導計画の立案に役立ててほしい。

現行の学習指導書「指導計画・評価編」第2部にある、指導と評価の計画案例を紹介しているページの一例です。

#### 5 指導案対応の評価規準例

#### 例1 教科書にそって主体的な学習に取り組む指導計画案

#### 第1学年

学習内容 〔( )内は教科書の頁〕	時間数	学習活動 〔( )内の学習課題、( )生徒の活動、( )教師の活動〕	生活や技術への関心・意欲・態度 〔( ) A 関心、( ) B 意欲〕
家庭分野ガイダンス P.1～15	1	●自立をめざして学ぶ。 ○小学校の学習をふり返り、教科書の口絵や目次から3年間で学びたいことや生活に生かしたいことをまとめる。	○小学校の学習をふり返り、3学年間の学習に関心をもち、見通しをたて意欲的に学ぶようになる。 ○小学校の学習をふり返り、3学年間の学習をもつて学習に取り組もうとしている。
(A) 家族・家庭と子どもの成長 P.16～65	1	●わたしたちの成長をふり返る。  ○自分たちの成長を家族や身近な人達に聞き、年代ごとに出た事や変わった人達についてまとめる。 ☆自分たちの成長は家族だけでなく、地域や親戚等の支えがあることに気づかせる。	○自分たちの成長について、色々な人に関心をもち、まとめることができる。 ○自分の成長について、まとめることができる。
2. わたしたちと家族・地域 (p.22～27)	1	●家族のはたらき。  ○毎日の生活をふり返り、家庭の仕事を分掌する。また、家庭の仕事は主に誰がやっているか目を付ける。 ○地域の活動について話し合い、人びとのつながりができていることを理解する。 ☆自分の生活や23頁の参考から課題を見つけ、家族関係をよりよくなる方法について考え、工夫する。 ☆24頁を利用して、家庭の仕事が地域や企業でも支えられていることに気づかせる。	○家庭生活の地域とのかかわりに関心をもち、自分の地域について調べ、地域のために自分ができることを考えようとしている。 ○家庭生活と地域とのかかわりに関心をもち、自分の地域について調べ、地域の大切さに気づいている。
3. 幼児の生活と遊び (p.28～47)	11	●幼児の発達を知り、家族の役割や地域とのかかわりを考える。  ○近隣の幼児を観察し、幼児の言動や活動、周囲の大人のかかわりを記録する。 ○幼児の体と心の発達について知る。 ☆幼児の成長には個人差があることや周囲の人々とのつながりが大切なことを知る。 ○遊び道具の役割を知り、保育体験の幼児の年齢に合ったおもちゃを工夫し、製作する。 ☆おもちゃ製作は、環境についても考えさせ、手紙やメッセージなどを利用して、2時間で製作できるものとする。	○幼児の言動や活動、周囲の大人とのかかわりに注目して観察し、特徴について気づくことができる。 ○幼児の言動や活動、周囲の大人とのかかわりに関心をもつ。 ○幼児に関心をもつて、安全な環境に配慮しながら、おもちゃ製作をしている。

114

現行の学習指導書「指導計画・評価編」第2部にある、年間指導計画を作成する際の基本的な手順について説明をしているページの一例です。

### 4 データ集 CD-ROM のご紹介

学習指導書「データ集 CD-ROM」は、「指導計画・評価編」に掲載される、さまざまな指導計画例の全データや、評価規準例関連、テスト問題例、小中高の学習指導要領などの全データと、教科書に掲載されている図版類の多くを画像データとして CD-ROM に収録致します。画像データ以外のデータは、先生ご自身が授業内容に合わせて変更することが可能な形式で収録されています。

### 5 指導事例編のご紹介

学習指導書「指導事例編」には、全国各地の先生方にご執筆いただいた、多種多様な指導事例を紹介しています。豊富な指導事例を掲載していますので、ご指導の際の参考にさせていただけます。

体裁は、B5判、176ページ、黒1色となる予定です。

⑤ 事例例 魚を使った郷土料理の実験計画

学習項目	学習活動	学習支援のポイント	評価観点・方法
魚を知ろう	・魚の生態に関するビデオを見ながら、魚の生態について話し合う。 ・魚の生態に関するビデオを見ながら、魚の生態について話し合う。	・魚の生態に関するビデオを見ながら、魚の生態について話し合う。 ・魚の生態に関するビデオを見ながら、魚の生態について話し合う。	・魚の生態に関するビデオを見ながら、魚の生態について話し合う。 ・魚の生態に関するビデオを見ながら、魚の生態について話し合う。
魚の生態に関するビデオを見る	・魚の生態に関するビデオを見ながら、魚の生態について話し合う。	・魚の生態に関するビデオを見ながら、魚の生態について話し合う。	・魚の生態に関するビデオを見ながら、魚の生態について話し合う。
魚の調理方法を考える	・魚にはどのような調理方法があるか話し合い、発表する。	・「魚」に関する調理方法に関する資料を準備する。	・「魚」に関する調理方法に関する資料を準備する。
魚を使った郷土料理を作る	・魚を使った郷土料理を作る。	・魚を使った郷土料理を作るための調理方法を準備する。	・魚を使った郷土料理を作るための調理方法を準備する。

78 日 食生活と自立

現行の学習指導書「指導事例編」に収録されている事例「地域の食材と郷土料理」の例です。

### C 食生活・住生活と自立 住居の機能と住まい方

#### 家族の安全を考えた住まい方を考えよう ～震災に備えて～

技術・家庭科研究会

#### 1 はじめに

生徒は家庭科の授業で最も興味深い内容は何かという問いかけをする。「調理がしたい」「ものづくりが好き」という声が多く、また、「防災」や「消費生活」への関心も高い傾向にある。生徒の実態をみると、「住まい」は生活に密着しているが、地震や災害に備えることについては、関心がある部分が多く、より知識で安全な暮らし方を自ら実践したり工夫したりしている生徒は少ない。

今回の学習指導要領の改訂により、働き・働き、過労・過労、防災・防災についての学習が小学校へ移行し、中学校「食生活・住生活と自立(2)」イにおいて、家族の安全に重点をおいた室内環境の整え方について扱うことになった。日本では、地震や集中豪雨、台風などによる被害が人々の日常生活に影響を及ぼすことがある。災害時には、自分自身の安全確保に加えて、家族を支えることが重要である。また、被災地の助け合いや災害ボランティア活動など、災害時に地域や社会に貢献できる行動や役割を学ぶことも大切である。授業では、防災や災害に備えるための知識やスキルを身に付け、安全な住まい方を考えることができるようにする。また、家族や地域社会のつながりを大切にし、災害時に助けあえるような関係を築くことも大切である。

また、人と人とのつながりや、地域の助け合いなどは、道徳の授業や総合的な学習の時間においても、関連づけられる。さらに、家族の学習内容は、他教科・領域・単元的に展開させる可能性を大きく持っている。また、地域への配慮について学習した際には、積極的に自治体や関係機関と連携し、学習した事項が、すぐに日常に活かされる場面も多い。学習した事項を実践する機会を増やすことは、指導者にとっては嬉しいことである。多くの場面では、家庭科の学習が活かされることを念頭に、また生活の基礎を学ぶ大切な教科として、更に指導計

120

調に工夫を重ねていきたいと思う。

#### 2 授業の構成と展開

① 本単の目標  
「安全な住まい」(第2学年・4時間以内)  
・家庭内の事故の種類とその原因を理解し、予防のための対策を考えることができる。  
・自然災害への備えとして、安全な住まいの構成や防災意識を学ぶことができる。  
・防災(防災グッズ)の活用や防災意識を高め、防災意識を高めることができる。

項目	はい	いいえ
あなたは、家族との安全な暮らし方を考えているか。	1.2人	6.8人
防災グッズの活用や防災意識を高めることができるか。	3.8人	4.2人
あなたの家では、災害時に持ち出す防災グッズを用意しているか。	3.2人	1.4人
あなたの家は、地震などの災害時に家族の安全を確保する対策を講じているか。	4.6人	3.4人

② 本単の指導計画 C(2)イ(1) (関連C(3)イ、D(2)イ)

- 住まいの安全対策「安全な住まい方の工夫」(1時間)
- 災害への備え「自分たちにできることを考えよう」(1時間)
- 災害時に役立つ物の活用「防災グッズの活用」(2時間)

住居の機能と住まい方 121

同じく、現行の学習指導書「指導事例編」に収録されている事例「家族の安全を考えた住まい方を考えよう」の例です。

# 6 内容編のご紹介

学習指導書「内容編」は、教科書の内容を指導する際に必要となる、さまざまな指導用資料や、知識を深められるような内容を掲載する指導書です。「A 家族・家庭と子どもの成長」、「B 食生活と自立」、「C 衣生活・住生活と自立」、「D 身近な消費生活と環境」の4つの内容ごとに1冊ずつ制作します。

「内容編」は、4冊ともに3部に分けて構成します。

第1部「題材の指導計画」では、各学習項目の設定理由を紹介するとともに、項目ごとの指導目標・評価のポイント・指導上の留意点などを掲載します。

第2部「指導の実際」では、授業に役立つように、教科書の内容に即した1（～2）時間ごとの「指導細案」と「指導法研究」を、全時間分示してあります。

第3部「研究資料」では、教科書の掲載内容について知識を深められるように、内容を掘り下げた説明をしたり、基礎となる理論から解説したりしています。

「内容編」の体裁は、B5判、黒1色で、それぞれのページ数は128～272ページ程度になる予定です。

<b>指導細案</b> 数p.38～39 <b>指導時間</b> 1 <b>本時</b> 1 <b>累計</b> 10 / 21		<b>【題材】</b> <b>3 幼児の生活と遊び</b>	<b>【小題材】</b> <b>⑤子どもの成長と地域</b>
<b>目標</b> ・子どもの成長と地域の施設や人びとの関わりについて理解する。			
<b>学習項目</b> ◎地域の施設について考える ◎子どもの成長と地域の施設・人びと ◎子どもを支える地域社会の支援 ◎本時のまとめ ◎次時の確認	<b>学習活動</b> ・施設利用者のインタビューをもとに、地域の施設が子どもや家族にどのように役立っているかを考え発表する。 ・子どもの成長と地域の関わりを子どもたちの成長の様子や家族にどのように役立っているかを発表する。 ・子どもの成長にはどのような地域、施設、人びとが関わっているかを発表する。 ・子どもを支える地域社会の支援について発表する。 ・本時のまとめ ・次時の確認	<b>指導上の留意点（・）</b> <b>評価（本編・工・技・知）</b> ・自分が通園した保育所などでの変わった思い出を発言させることで、生徒が自分自身の成長を振り返るとともに、他者と思い出を共有することもできるようにする。 ・施設については事前に課題として調べておき、その特徴を発表させる。 ・中学校近くの保育施設の写真を提示して子どもの施設を想起させる。 ・教科書、資料、インターネットなどで調べたものを発表させる。 ・地域の行事や物での幼児期の経験、その他、地域の子どもたちの考えを聞き取り、地域として伝統文化などに取り組んでいるところの紹介などを写真やVTRを用いて行う。 ・教科書p.32の方法3等事前にインタビューしておく。 ・★子どもの発達を支えるために地域の施設や行事、それを支える人びとが関わっていることについて。 ・子どもを支える地域社会の支援について発表する。 ・子どもが安心して生活できる社会を築くための方法が考えられていることが考えられているグループで話し合う。支援システムが充実していることを知り、将来は自分たちで維持していくことに気づく。 ・子どもの成長と地域の施設や人びとの関わりについて考える。 ・子どもの存在は地域の活力になっていることも気づく。 ・次時の学習内容を確認する。	<b>準備・資料</b> ・教科書 ・ワークシート ・写真 ・VTR ・教科書 ・ワークシート

現行の学習指導書「内容編 A 家族・家庭と子どもの成長」の第2部に収録されている「指導細案」と「指導法研究」のページの例です。内容によって「指導法研究」が1ページで足りない場合は、次の見開きまでの3ページで「指導法研究」を示すときもあります。

## 指導法研究

●教材の扱い方  
現代は少子高齢社会である。少子化の要因として未婚化・晩婚化の進展が挙げられるが、経済的理由も大きいといわれている。  
また、子育てに関して、子どもや子育てをまったく知らないまま親になることで見通しがもてず、戸惑いや不安があるといわれている。しかし、核家族化により家族からの助言が受けづらくなることもあり、地域の支援が求められている。家庭の家事は家電製品の利用で便利になり、家庭外でも家庭の役割を担ってくれるものが無数にある。しかし、子育てという家庭の機能はどんな機械でもやってくれない「愛情を込めて行う」ことが基本である。ここでは、社会の変化を踏まえ、家庭内での保育が、地域社会の支援を受けて、さらに安心して子育てができる環境が整えられていることを知るとともに、子どものための環境づくりに関心をもちたいとしている。

◆子どもを支える地域のシステム  
国では、子どもを生み育てることに喜びを感じられる社会を目指して、次代の社会を担う子ども一人ひとりの育ちを社会全体で応援するため、子育てにかかる経済的負担の軽減や安心して子育てができる環境整備のための施策など、総合的な子ども・子育て支援を推進している。

◆地域の行事と子どもの関わり  
地域の行事が共同で行う行事に、子どもたちがどのように関わっているかを調べると、地域差はあるが興味深い。祭り、伝統行事の伝承、体育的行事、環境を整えるための行事、保健、防犯・防火、児童健全育成などの活動の中で、子どもは地域の人の手によって守られ、育てられていることがわかる。

◆幼児教育と児童福祉  
日本においては、東京女子師範学校に1876年に付設された幼稚園、1890年に新潟静修学校に付設された女子守学校を由来とする保育園がある。就学前の子どもに対する効果的な施設といえ、幼稚園と保育園の区別は幼児教育と児童福祉の曖昧さを戦後に引き継ぎ形となった。すなわち、幼稚園は学校教育の下、文部科学省が管轄する幼児教育の施設であり、家庭教育が中心で集団生活を体験するところであるのに対し、保育園は保育所として児童福祉法の下、厚生労働省が管轄し、乳児から小学校へ入学するまでの幼児を預かり、家庭と協力して保護と教育を行う施設である。両制度の存在は幼児二元化ともいわれ、今日的課題として幼児一元化の方向性が打ち出され、「認定こども園」が位置づけられた。  
現在、保育所または幼稚園を経て小学校に入学する児童数は9割を超え、ほとんどの子どもが幼児教育を受けている。きょうだいの数が減少し、近隣社会でも出生率の減少で遊び友だちが減っている中、幼児のための施設は幼児の社会的やその他の心身の発達にとって重要な役割を担っている。

◆ファミリーサポート事業  
次世代育成支援対策推進法に基づき病児、病後児の預かりなどの事業を行っている。



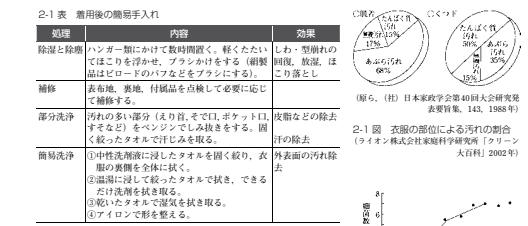
参照→ p.144、ワークシート写真No.39、41、43

## 1 自分らしく着る・快適に着る 2 日常着の手入れ

### 1 汚れと手入れ

1. 日常の手入れ  
衣服は着用によって汚れが付着し、しわや型崩れを生じるが適切に手入れを行うことによって、その性能や価値を長く保つことができる。服衣後に簡単な手入れを行えば、洗濯頻度を減らすことで長持ちさせることができる(2-1表)。

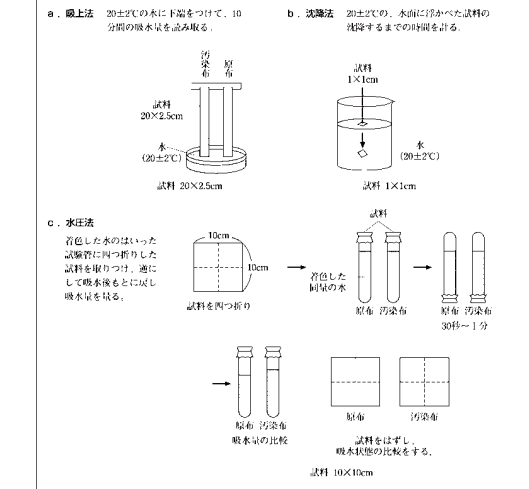
2. 衣服の汚れ  
(1) 衣服の汚れ  
衣服に付着する汚れの種類や量は着用者の生活環境や季節(2-2表)、衣服の部位(2-1図)によって異なる。肌着のように皮膚と直接触れるものには身体から分泌・排出される汗、皮脂、垢が多く付着する。外衣には、生活環境の塵埃、食品、インク、化粧品など種々の汚れが付着する。靴下や学生服には皮膚表面に常在する細菌も付着している(2-2図)。足汗は汗の分泌が多く靴の中が蒸れるので、靴下を1日着用すると菌数が増える。汗や皮脂とともに衣類に付着した細菌は、これらの汚れを分解して臭い物質(脂肪酸の脂肪酸やアミンなど)を生成する。衣服を構成する繊維の化学的組成や表面形態によっても汚れのつき方が異なる。



部位	胸	背	首	腕	股	膝	足	顔	手足
夏	0.14	0.35	0.39	0.06	0.08	0.11	0.06		
冬	0.59	1.41	1.61	0.46	0.18	0.35	0.15		

128 第3部 研究資料

(2) 汚れの視覚化  
布の汚れを最も簡単に視覚的に判別できる方法として、吸水速度による方法が一般的に広く行われている。2-3図に示すように、吸上法、沈降法、水圧法などを用いて、汚れた布の吸水性の低下を簡単にみる事ができる。



2-3図 吸水法による比較 (中興実習生「新しい次期衛生」由仁校、1997)

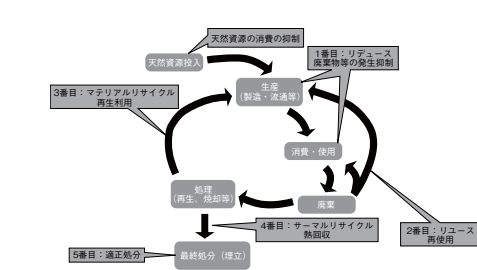
3. 汚れを落とす理由  
(1) 衣類素材の性能変化  
衣類に汚れが付着すると外観を損なうばかりでなく素材の性能が低下し、衛生的にも悪影響がある。肌着の場合は特に吸水性、通気性、保温性が低下し、着心地が悪くなる(2-3表)。  
(2) 衣類機能の保持  
汚れを長期間放置すると落ちにくくなり、汚れが変質して黄変し(2-4図)、かびや細菌が繁殖して臭いが発生、繊維が劣化して強度が低下する。虫害の原因となることもある。衣服の価値は著しく低下する。

129 自分らしく着る・快適に着る 129

現行の学習指導書「内容編 C 衣生活・住生活と自立」の第3部に収録されている「研究資料」のページの例です。教科書の内容に関連するもので、教科書には載っていない、知識を深められる内容を豊富に収録します。

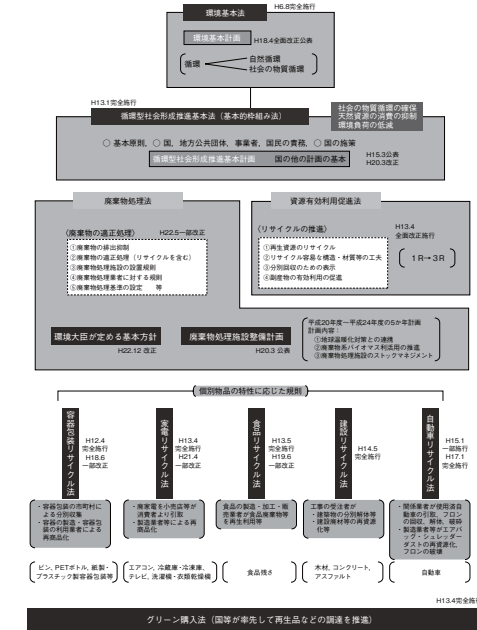
## 5 持続可能な社会へ向けて

(1) 循環型社会の形成  
地球環境の悪化が、1980年ごろから顕在化してきたことにより、いろいろな対策が必要となった。とくに、熱帯雨林の急激な減少を防ぐこと、地球温暖化対策のために化石エネルギーの使用を削減することなどが求められている。一方で、将来の資源の逼迫・枯渇の心配もある。このような問題をクリアして、環境負荷の小さい持続可能な社会を実現するために、資源の循環的再利用による方法であると考えられる。そのキーワードが「循環型社会」である。  
ただし、大量生産・大量消費・大量廃棄のまま循環型社会に移行すると、再生資源のための新規エネルギー投入など、かえって環境負荷を増大してしまうことになる。したがって、真に持続可能な社会とするためには、単に循環型であるだけでなく、省資源・省エネルギーを同時にすすめる必要がある。そのため、国では2000年に「循環型社会形成推進基本法」を定め、その方針を示した(4-33図)。  
3つのR(リデュース=削減、リユース=再利用、リサイクル=再生利用)という考えが、その中でしばしばリサイクルのみが目玉される。しかし、上に述べたように、リデュース、リユースが優先して行われなければならない。そこで、循環型社会形成推進基本法では、優先順位として①リデュース ②リユース ③リサイクルとし、ついでにリサイクルとして再生利用可能な場合は、燃やしてエネルギーを利用する④サーマルリサイクル(熱回収)を加えている。③ら有害物なども再生利用に適さない場合には、健康や環境への被害が出ないようにする⑤適正処理をする。  
また、この方針にしたがって各分野で循環型の処理をすすめるために、容器包装リサイクル法、建設資材リサイクル法、家電リサイクル法、食品リサイクル法、グリーン購入法などの個別法、関連法が整備された(4-34図)。今後は、私たちの暮らしをこれに沿ったものとしていかなければならない。



4-33図 循環型社会の姿 (環境省「平成23年版 環境・循環型社会・生物多様性白書」)

現行の学習指導書「内容編 D 身近な消費生活と環境」の第3部に収録されている「研究資料」のページの例です。ここでは、知識を深めるさまざまな資料や解説が掲載されています。



4-34図 循環型社会の形成の推進のための施策体系 (環境省「平成23年版 環境・循環型社会・生物多様性白書」)

4 環境に配慮した生活 123

# 7 入門編のご紹介

学習指導書「入門編」は、家庭分野のご指導がはじめての先生や、これから教科について深めていかれる先生方をサポートする基本的な内容を多く盛り込んだ指導書です。本書の内容に沿って進めることで、3年間の授業ができるように構成しています。

## ●各内容の流れ

該当授業がA B C Dの各内容の中のどの部分にあたるのか、一目で分かるように記します。

## ●教科書ページと本時の時数

この見開きの授業に該当する教科書ページと、A B C Dの各内容の何時間目の授業にあたるのかを記します。

## ●詳細な授業展開と指導の例

該当授業において、どのように授業展開をしていけばよいのか、できる限り詳細に記述します。今日の授業の目標を伝えるところから始まり、授業の導入ではどのような投げかけをすればよいかなど、説明を加えながら展開していきます。

**A**

1 わたしの成長と家族 / 1H    2 わたしと家族・地域と地域 / 3H    3 幼児の生活と遊び / 8H    4 幼児とのふれ合い / 6H    5 これからのわたしと家族 / 2H

---

**1 家庭のはたらき**      本時 2 / 20 (時間)      教科書 p.22 ~ p.23

**指導の目標**

- 家庭のはたらきと地域社会との関わりを理解させる。


**授業の準備しておくこと**

- ワークシート
- 教科書p.22のイラスト拡大図

---

**導入**

① 黒板に貼ってあるイラストを見てください。それぞれ何をしていますのしょう？



- 黒板に教科書22ページのイラストを拡大したものを貼る。
- それぞれのイラストが何をしているのか、生徒の答えを書き込む。

・食事づくり	・掃除
・子どもの世話	・食事
・入浴	・病人の世話(介護)

- 生徒があげたもの(こと)を板書する。

・睡眠	・宿題	・着替え	・ゲーム
・遊び	・洗濯	・談話	・テレビ

- ワークシートを配る。

1. 朝ごはんをつくるのは誰？
2. 掃除をするのは誰？
3. 洗濯をするのは誰？

…

**【ワークシート】**

さとうさんちについて考えよう!

父・夫: さとう	お母 (35歳)
母・妻: さとう	あま (35歳)
子ども: さとう	あま (3歳)

さとう家は3人家族です。お母さんとあまさんは共に仕事しています。

1. 朝ごはんをつくるのは誰ですか？
2. 掃除をするのは誰ですか？
3. 洗濯をするのは誰ですか？
4. お母さんとあまさんが働いていると、あまちゃんの手伝いをするのは誰ですか？
5. 夕飯の洗い物をするのは誰ですか？
6. あまちゃんの手伝いをするのは誰ですか？
7. お母さんとあまさんが仕事から帰るとあまちゃんがお風呂を出しました。お風呂に連れていくのは誰ですか？

- 例えば

1. 朝ごはんをつくるのは誰？

Aさん: お母さんだと思う  
Bさん: 2人とも忙しいから、コンビニのパンじゃない？

これらは、家庭での活動ですね。では、他にはどんな活動がありますか？

このような活動は、わたしたちが生きていくうえで大切なことです。

では、ある家族を紹介します。父・母・子ども(3才)の3人家族です。この夫婦は、共働きです。

ワークシートに書かれている質問に答えてみてください。

**10分**

それでは、4人グループをつくり、他の人の考えと比較してみましょう。

3年間 87.5 時間すべての授業展開例を掲載し、そのままの内容で3年間の授業ができるようにしています。1見開きに1授業時間分の内容を掲載することを基本として、教科書を基本とした詳細な授業展開と指導の例、評価例、指導のポイント、教科書の該当ページなどを掲載します。

体裁は、B5判、192ページ、黒1色の予定です。


**2 わたしと家族・地域と地域**

教科書 p.22

**3 わたしと家族・地域と地域**

教科書 p.23

仕事の分担の偏りを生徒に考えさせて、気づくようにしていきましょう。



---

**20分**

どうですか?自分の考えと他の人は同じでしたか?1番の質問に対して、1班はどうでしたか?

全体の発表から気づいたことはありませんか。

「女性だから、男性だから」ということで仕事の分担はどうなっていますか。

なぜ、そのような分担がいいと考えられたのでしょうか!

みんなお母さんがつくるという考えでした。

お母さんだって忙しいんだから大変じゃない?

- 性別役割分業について説明する。
- 家事は女性が行うことであるという考えについてどう思うか問う。外部のサービスを取り入れることができることを伝える。

4. 父・母が働いているときのあまちゃんの手伝いをするのは誰?

- ・保育所の先生
- ・祖父・母
- ・近所の人

- 家庭のはたらきと社会とのつながりに気づかせる。

---

**47分**

**まとめ**

家庭での活動を支えるためには、家族の協力が必要で、地域の人や、サービスなどの関わりもあるんですね。

**50分**

**授業の後の評価**    ◯ワークシート 問・図

---

**POINT**

**指導のポイント**

- 生徒の育ってきた環境を配慮し、ある家庭について家庭のはたらきや、社会との関わりを理解させる。

- 生徒の考えの多くが「家庭のはたらきは主に女性が担う」となっている場合、外部のサービス等を説明し、地域・社会との関わりについて考えるよう促す。

## ●教科書ページ縮刷

該当教科書ページの縮刷を掲載し、授業展開において、どの箇所を使用すればよいのか明記します。

## ●詳細な授業展開と指導の例(続き)

授業展開に従って、詳しく説明をしていきます。必要に応じて、資料も示します。

## ●評価の方法と4観点

## ●指導のポイント

# 8 ワークシート複写編のご紹介 ※単体販売

学習指導書「複写編」は、教科書の内容に完全準拠した208ページ分のワークシート集です。学習の整理、知識の定着、実習の記録、学習のふり返りなど、さまざまな学習の場面で利用できるワークシートを収録しています。収録されているワークシートを必要な枚数コピーをして、授業の際などに配布してご使用いただくことができます。

また、複写編にはCD-ROMが添付されており、その中には208枚すべてのワークシートのデータが収録されています。授業の内容に応じてワークシートを修正する必要がある場合には、直接データを変更することもできるようになっています。

「複写編」の体裁は、B4判、208ページ（104枚の厚紙の表裏印刷）、黒1色で、ケースに収納されており、CD-ROMも同封されています。また、セット販売ではなく単体でご購入いただけるものとしてご用意いたします。

**A 習得・理解と子どもの成長** 30 3 幼児の生活と遊び (月) (日) 36

### 生活習慣を身につける

1. 幼児は、どのようにして基本的な生活習慣を身につけているのだろうか。下の図を参考に考えてみよう。また、( )の中にあてはまることを書き入れよう。

	0	1	2	3	4	5(歳)
食事						
( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )
おむつ						
( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )
着脱衣						
( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )
うがい						
( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )

2. 社会的な生活習慣には、どのようなものがあるか考えてみよう。また、( )の中にあてはまることを書き入れよう。

**安全の習慣**

- ・忘れず、横断歩道を( )。
- ・車の直前・直後を通らない。
- ・危険な場所へは、( )ない。

**決まりを守る**

- ・使ったものは( )。
- ・ごみは( )に入れる。
- ・公共物を( )にする。

**対人関係**

- ・( )をする。
- ・( )を守って遊ぶ。

3. 幼児が生活習慣を身につけているために、周囲の人の役割はどのようなことに気を配ればよいかまとめよう。

現行の学習指導書「ワークシート複写編」に収録されているワークシートの一例です。学習の整理や知識の定着が図れます。

**B 食生活と自立** 5 1 健康と食生活 (月) (日) 79

### 栄養素の種類とはたらきを考えてみよう

1. 栄養素の種類について、下の表にまとめてみよう。

主にエネルギーになる	三大栄養素
主に体の組織をつくる	
主に体の調子を整える	

2. わたしたちの体は、どのような成分からできているのだろうか。成分とその割合を予想して、実際の成分と割合を書いてみよう。

【体をつくる成分と割合の予想】

【人の体の成分と割合】

水分	60%
たんぱく質	15%
脂質	10%
炭水化物	10%
ミネラル	5%
ビタミン	5%

**資料**

●水分のはたらき

人間は、食べ物を口にして水分を吸収し、体内に蓄積された水分を消費することで2週間生き延びるといわれるが、逆に水分を補給しなければ数日で命を失うといわれる。

水は、成人の場合で1日に飲料水から800~1,300mL、食品中から1,000mL摂取する。一方排出は尿で1,000~1,500mL、汗からの汗や呼吸蒸発する量が900mL、便で100mLくらいである。水分の調節はおもに腎臓で行われ、1日180mLの血しょうがろ過され、不要な水分は尿として排出される。腎臓に支障をきたして、ろ過作用がじゅうぶんに行われなくなると、むくみが生じるのはこのためである。

水分には次のようなはたらきがある。

体温調節	栄養素の運び手	ものが見える	音が聞こえる
体内にある水分が気道に蒸発し汗や尿により排出され、その結果体温が一定に保たれる。	糖質やたんぱく質などの栄養素を運ぶ。	水晶球に含まれる水の層がレンズの役割を果たし、物がよく見えるようになる。	耳の中のリンパ液の振動が音を伝え、音が聞こえるようになる。

●食物繊維について

食物繊維は、人の体では消化できない食品中の成分である。消化されないから他の栄養素のように吸収されずそのまま腸内を移動して排出される。

食物繊維には次の2種類がある。

- 水溶性(水に溶ける)食物繊維: こんにゃくやわかめなどに含まれるねばねばした成分で、腸にこびりついた汚れや脂肪の成分を腸壁を体外に押し出しながら、腸内を移動して排便を促す。
- 不溶性(水に溶けない)食物繊維: 豆類やそばなどに含まれるすじ状の成分で、腸にこびりついた汚れや脂肪の成分を腸壁を体外に押し出しながら、腸内を移動して排便を促す。

◎自然の食品には、水に溶ける食物繊維も水に溶けない食物繊維も含まれている割合は違いますが、どちらも含まれている。

**C 衣生活・住生活と自立** 35 ⑥ 生活を豊かにする物をつくる 1 わたしや家族の生活を豊かにする工夫 (月) (日) 175

### 作品製作の計画

作品名	年 組 名 前	
作品の説明	(何をを使ってどんな物をつくるのか)	
準備する材料		
製作の計画予定	製作時間	実施日
1 時間目	✓	
2 時間目	✓	
3 時間目	✓	
4 時間目	✓	完成提出

具体的な作業内容や準備する物

製作者の感想

(製作の手順やつくり方を、絵と文章で書こう)

**C 衣生活・住生活と自立** 45 衣生活・住生活の自立 (月) (日) 185

### 「衣生活・住生活と自立」学習のまとめ

学習をふり返ろう

評価内容	記入らん
1 ①衣服にはどのようなはたらきがあるか、わかりましたか。	
②衣服についての表示の意味を理解することができましたか。	
③自分の衣生活を見直し、日常着の適切な選択ができるようになりましたか。T.P.O.に対応できる衣服や着用のしかたなどについても考えておきましょう。	
④衣服の手入れのしかたがわかり、自分でできるようになりましたか。	
⑤洗濯や環境に配慮するために、自分でできる衣服の手入れや着用の工夫などを、書き出してみましょう。	
2 ①住まいの基本的なはたらきをあげてみましょう。	
②和室と洋室の住まい方を比べ、それぞれの長所と短所を書き出してみましょう。	
③家庭内で起こりやすい、住まいの事故の原因をあげてみましょう。また、その防ぎ方も書き出してみましょう。	
④地震と津波、水害などの自然災害への備えや災害時の対処について、家庭で行ったり話し合ったりしていることをあげてみましょう。	
⑤室内環境を快適に整えるための条件をあげてみましょう。	
⑥室内環境を快適に整える方法をまとめてみましょう。	

生活に生かそう

①基礎的な補修の技術を使って、生活を豊かにする物をつくることができましたか。

②作品をつくることを通して、生活を豊かにする工夫ができましたか。

③製作を通して、物をつくることの楽しさを感じられましたか。

自分の思っていることをまとめ、クラスで互いに交流しましょう。

もっと知りたいこと

これからの生活に生かしていきたいこと

同様に、現行の学習指導書「ワークシート複写編」に収録されているワークシートの一例です。実習の記録や学習のふり返りの際にご使用いただけるワークシートです。

## 9 CoNETS 版デジタル教科書のご紹介 ※単体販売

デジタル教科書とは、電子黒板やプロジェクタ、大型テレビなどのICT機器に映し出して使用する、教科書に完全準拠した、授業でご活用いただけるパソコン用のソフトウェアです。

CoNETS 版デジタル教科書とは、CoNETS ビューアを使用したデジタル教科書のことで、CoNETS ビューアを使用しているデジタル教科書であれば、他の会社、他の教科のデジタル教科書であっても、同様の操作で使用できます。

デジタル教科書には、教科書の全ページのイメージと、内容に関連するさまざまなコンテンツを収録します。画面の拡大・縮小はもちろんのこと、画面上へのペンでの書き込みやマーカーでのマーキングなども標準機能として備えています。

収録予定のコンテンツとしては、教科書の画像・図版、作業場面の動画、内容説明のパワーポイント、アニメーションデータなど、授業で利用できる多くのコンテンツを収録します。

デジタル教科書は、単体でご購入いただけるものとしてご用意いたします。

### CoNETS 版デジタル教科書のページのイメージ例



●教科書の見開きが表示されている状態です。この画面中に、内容に応じて各種コンテンツがリンクされています。内容解説用の静止画、動画、パワーポイントデータを始め、方眼紙を利用した描画ツール、3Dデータなど、多種多様なコンテンツがあります。

●デジタル教科書の基本機能である各種ツールが並べられているツールバーです。ページ送り・戻し、拡大・縮小、ペン・マーカー、消しゴム、付箋、履歴保存などのツールがあります。

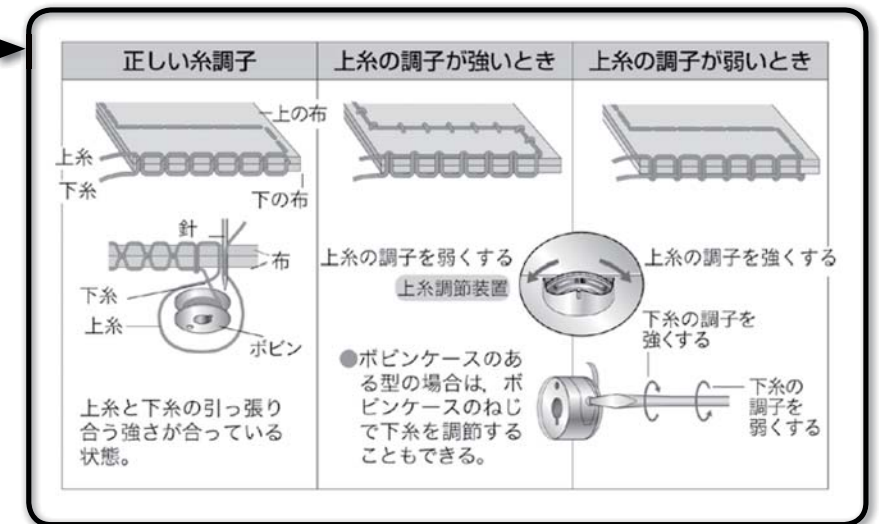
### ●調理や製作の手順が動画で収録されています。



教科書の写真の中で、特にポイントになる部分を動画でゆっくり示します。

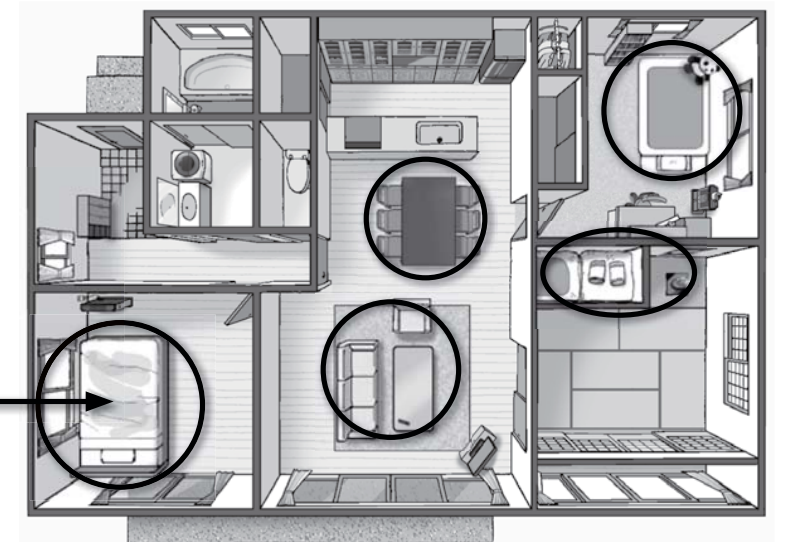
### ●ミシンの縫い合わせのしくみなど、原理がわかるようにアニメーションが収録されています。

針と糸の関係、ミシンの動きなどをアニメーションにしています。



### ●図中の要素の位置移動ができます。

室内の家具を動かすことによって配置を変えることができます。





私たちは、子どもたちの未来を  
大切にしたいと願っています

教科書・教材教具の開発を通じて、  
家庭科、技術・家庭科教育を支援します。

授業をサポートする  
開隆堂のサービス体制



開隆堂出版株式会社

<http://www.kairyudo.co.jp/>

- 本 社 〒113-8608 東京都文京区向丘1-13-1 TEL. 03-5684-6111
- 北海道支社 〒060-0061 札幌市中央区南一条西6丁目11番地 札幌北辰ビル8階 TEL. 011-231-0403
- 東 北 支 社 〒983-0043 仙台市宮城野区萩野町1-11-1 萩野町Mビル2階 TEL. 022-782-8511
- 名古屋支社 〒464-0802 名古屋市千種区星が丘元町14-4 星ヶ丘プラザビル6階 TEL. 052-789-1741
- 大 阪 支 社 〒550-0013 大阪市西区新町2-10-16 TEL. 06-6531-5782
- 九 州 支 社 〒810-0075 福岡市中央区港2-1-5 FYCビル3階 TEL. 092-733-0174